

農業経営診断予備調査書 (個人経営1-1)

〈野菜作〉

(平成 年 月現在)

診断希望事項			
1. 経営者の概要	1. 認定農業者	第1回認定日 平成 年 月・第 回 年 月	
	エコファーマー	認定日 平成 年 月	
		〒 Ⅾ	
	所在地		
	代表者名	(年齢)	
	就業年数	S・H 年 月・就業後 年	
	集落組織参加	①S・H 年参加②参加考慮中③参加未定	
	経営の業態	①単一経営・②複合経営()	
2. 生産部門該当に○印	(1) 耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作	
		④豆類作 ⑤芋類作 ⑥飼料作	
		⑦工芸作物作() ⑧施設野菜作	
		⑨露地野菜作 ⑩果樹作	
		⑪施設花き作 ⑫露地花き作	
		⑬その他()	
		(2) 畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛
	④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他		
	(3) 養蚕	①養蚕	
	(4) 加工	①農産物加工 (品名)	
②畜産物加工 (品名)			
③林産加工 (品名)			
3. 農業経営の現状計画	◆作目・作型	作物面積	生産量
	①露地畑	畝	ト
	②温室ハウス	畝 棟	
	③雨よけハウス	畝 棟	
	④		
	面積 種類合計	畝	ト
	◆経営耕地	地目	面積
	①所有地	畑・水田・他	畝
	②借入地	畑・水田・他	畝
	◆作業受委託	作業内容	面積等
4. 生産方法	◆機械・施設	形式・性能	台数・面積等
	①		
	②		
	③		
	④		
	農用地の現状	①30%区画主体	②耕地がブロック()に分散
5. 経営状況と特徴			
6. 栽培法(あなたの栽培作型に○印をつける)			
(1)露地栽培 (2)マルチ栽培 (3)トンネル栽培 (4)パイプ栽培(ジネツホ) (5)ハウス内・トンネル栽培 (6)雨よけハウス (7)防除ネットのトンネル栽培 (8)施設栽培 ①ハウス土耕灌水式(加温・無加温) ②ハウス養液土耕式 ③ハウス養液栽培式			
養液水耕栽培 ── 湛液型水耕 NFT 型水耕 固形培地耕栽培 ── ロックウール式 ポリウレタン パーライト耕 くん炭耕			
7. 安心安全への取組み課題			
(1) 化学合成農薬を慣行の50%以上減らす (2) 化学肥料を慣行の50%以上減らす (3) 農薬の名称・用途及び使用回数を表示する (4) 性フェロモン材等誘引剤を使用した旨を表示する (5) 天敵を使用した旨(名称)を表示する (6) 特定防除資材を使用した旨(名称)を表示する (7) 化学肥料(50%以下)の用途及び窒素性分量(10aあたり)を表示			
8. 作業記録・日誌の有無			
(1) 栽培工程毎の記録(時間・内容・方法等)の有無 (2) 防除・施肥記録(名称・使用料・回数)			
◆生産方式の特色			

(個人經營1-2)

(平成 年 月現在)

5.	(1) 消費客のニーズ把握 ①している ②していない (2) 対象とする客層を ①決めている ②決めていない (3) 直販の顧客名簿 ①有 ②無 (4) 販 売 計 画 ①有 ②無 (5) 計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い (6) 達成しない理由 (7) 販 売 の 現 状 ①JA共販 _____% (品目) _____ ②青果市場等 _____% (品目) _____ ③直売店・朝市 _____% (品目) _____ ④その他 _____% (品目) _____ (8) 今後の販売戦略の課題	(9) 農産物の部門別・生産量と販売額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 33%;">生産品目</th> <th style="width: 33%;">生産量(%)</th> <th style="width: 33%;">販売額(%)</th> </tr> <tr><td>①</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑤</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>計</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </table> (10) 今後の販売方針	生産品目	生産量(%)	販売額(%)	①			②			③			④			⑤			計	100%	100%
生産品目	生産量(%)	販売額(%)																					
①																							
②																							
③																							
④																							
⑤																							
計	100%	100%																					
6.	(1) 複 式 簿 記 (パソコン活用 有 ・ 無) (2) 借入金の内訳 ①農業経営基盤強化資金(スーパーL融) 千円 ②農業経営改善資金 (スーパーS融) 千円 ③農業近代化資金 千円 ④経営体育成強化資金 千円 ⑤その他 千円 (3) 利 益 計 画 有 ・ 無	(4) 資金の運用と調達 ①借入金残高 千円 ②元金償還額 千円 ③税引後利益 千円 ④減価償却費 千円 ⑤キャッシュフロー-③+④ 千円 ⑥運用余剰金⑤-② 千円 (5) 設 備 投 資 計 画 有 ・ 無 ①借入金予定 (返済 年) 千円 ②年間元金償還額 千円																					
7.	(1) 人 手 ①十分 ②普通 ③不足 (2) 労働条件通知書(雇用時) 有 ・ 無 (3) 国民健康保険(加入) 有 ・ 無 (4) 農業者年金 (加入) 有 ・ 無 (5) 労 災 保 険 (5人以上) 有 ・ 無 (6) 雇 用 保 険 (5人以上) 有 ・ 無 (7) 小規模共催保険 有 ・ 無 (8) 家族経営協定書 有 ・ 無	(9) 労 働 力 (人数) ①家 族 (うち女性) _____人 () ②常時雇用 (6カ月以上の契約) _____人 () ③臨時雇用 (6カ月以内の契約) _____人 () (10) 労 働 時 間 (年間常時雇用以上) (現在) (目標) ①家 族 _____時間 _____時間 ②常時雇用 _____時間 _____時間																					
8.	(1) 経営改善計画の取組み状況	(2) 経営上の問題点(該当に○印) ①従業者の高齢化 ⑦作業工程別計画の不備 ②担い手の確保難 ⑧経営管理が弱い ③生産方式の改善難 ⑨利益率の低下 ④後 継 者 難 ⑩無減農薬の対応 ⑤販売力が弱い ⑪有機栽培の対応 ⑥生産コストが高い ⑫各種マニュアルの不備																					

経営の成長目標

〈野菜作〉

(設立項目に記入)

1. 目 標	平成 年A	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年B	B/A×100
(1) 目 標 収 量						
(2) 販 売 目 標 (中・長期)						
(3) 利 益 目 標 (中・長期)						
(4) 規 模 目 標 (作付け面積 [㌥])						
(5) 生産額 目 標 (合計額 ㌦)						
2. 目標達成のための戦略						
平成 年現在	作付面積	生産額 [㌦]				
① 稲 作 部 門						
② 麦 作 部 門						
③ 豆 作 部 門						
④ 野・菜 部 門						
⑤ そ の 他 部 門						
3. 労働力(パート)	人	人				
(2) 複 合 経 営 の 推 進 (例)直売店・観光農園						
(3) マーケティング志向に対応するブランド品づくり(例)果実入り豆乳ゼリー						
(4) 技 術 革 新						
① 省 力 化						
② 栽 培 方 法						
③ 作 業 工 程						
④ 加 工 部 門						
⑤ そ の 他						
(5) 販 売 方 針						
① 方 針 の 転 換						
② 販 売 チ ャ ネ ル						
(6) 資 本 金 ・ 運 営 資 金 の 調 達						
① 使 途						
② 調 達 先						
(7) 組 織 体 制 の 見 直 し						
(8) 雇 用 と 労 務 環 境 の 整 備			現 組 織 図			

作業別労働時間改善計画表

作目名 里いも（エビイモ）

〈作業別・時期別労働時間・10㌥当り〉

区 分	基 準 値	実 績	改 善 計 画 値		改 善 計 画
	H 年 A10㌥当り	H 年 B10㌥当り	H 年 C 全 体	H 年 D10㌥当り	
(1)作付け面積					
(2)延作業人数 ○内雇人数					
(3)労働時間合計 ○1人当り労働時間					
①育苗労働時間計	時間	時間	時間	時間	
ア種芋選別					
イ伏せ込み					
②本圃労働時間計					
ウ土壤消毒					
エ耕耘・施肥					
オ定 植					
カ追肥土寄せ					
キ防 除					
ク灌 水					
ケ摘 葉					
コ親株貯蔵					
③間接労働時間計					
ア収 穫					
イ乾 燥					
ウ調 整					
エ出 荷					
オその他（かま隠す）					
(4)労働時間区分					
①家族労働（男女2人）					
②雇 用（女2人）					

社団法人 中小企業診断協会

収益と費用改善計画表

作目名 里 芋 (エビイモ)

(単位: ケース・円・%)

項 目		基準値	H 年	H 年 改善計画表		対比 %	改 善 計 画
		A. 10㍻当り	B. 10㍻当り	C. 全 体	D. 10㍻当り	D÷A×100	
粗 収 益	生産量						
	販売単価						
	生産額						
	副産物収入						
	合 計						
経 営 費	変 動 費	直 接 生 産 費					
		種苗費					
		肥料費					
		農薬費					
		光熱動力費					
		諸材料費					
		小農具費					
		賃料料金					
		雇用労賃					
		水利費					
		その他					
		計					
	出 荷 経 費	資材費					
		運賃					
		手数料					
		その他					
		計					
	小 計						
	固 定 費	減価償却費					
		成園費・成育費					
		借地料					
		修繕費					
		その他					
	小 計						
	合 計						
成 果	農 業 所 得						
	所 得 率						
	労働1時間当り所得						
	家族労働見積額						
	自己資本利子見積額						
	自己地代見積額						
	生産費(全額参入生産費)						
	利潤						
	利潤率						
	総労働時間(時間)						
	家族労働時間						
	雇用労働時間						
	損益分岐点売上高						
	損益分岐点販売量						

社団法人 中小企業診断協会

サトイモの作型

原単位種目 エビイモ

<計算の前提となる経営条件>

○経営規模

作型	品種名	栽培面積(ha)	内借地分(ha)
トンネル 普通	海老芋	0.2	
	海老芋	0.2	
	白茎海老芋	0.4	
小計		0.8	0.0
小計		0.0	0.0
合計		0.8	0.0

○労働力

	区分	人数(人)
家族	男	1
	女	1
	合計	2
雇用	常時 男	
	常時 女	
	臨時 男	
	臨時 女	2
	合計	2

○栽培体系

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
トンネル栽培													海老芋
普通栽培													海老芋 白茎海老芋
主要作業名	貯蔵物出荷開始		催芽 鉢上げ	定植		追肥 ・土寄せ	防除 追肥 ・土寄せ	防除 追肥 ・土寄せ	防除 追肥 ・土寄せ	防除	収穫開始		
												貯蔵	

○主要な技術及び留意点

- ・白ねぎとの複合経営
- ・農協の機械選別ラインを利用
- ・家族3人

資料出所：静岡県農水部 原単位

作業別労働時間調査表

作目名 里いも（エビイモ）

〈作業別・時期別労働時間〉

区 分	基 準 値	診 断 対 象				(%) D÷A×100	備 考
	H 年 A10ㄱ-当り	H 年 B 全 体	H 年 C 全 体	H 年 D10ㄱ-当り			
(1)作付け面積							
(2)延作業人数 ○内雇人数	4人					4人 (2人)	
(3)労働時間合計 ○1人当り労働時間	2,488時間	時間	時間	時間		(622時間)	
①育苗労働時間計	145時間						
ア種芋選別	9						
イ伏せ込み	136						
②本圃労働時間計	1,143時間						
ウ土壤消毒	52						
エ耕耘・施肥	64						
オ定 植	128						
カ追肥土寄せ	541					※	
キ防 除	112						
ク灌 水	22						
ケ摘 葉	32						
コ親株貯蔵	192					※	
③間接労働時間計	1,200時間						
ア収 穫	320					※分別作業	
イ乾 燥							
ウ調 整	816					※	
エ出 荷							
オその他 (かま開け)	64						
(4)労働時間区分	2,488時間						
①家族労働 (男女2人)	2,164						
②雇 用 (女2人)	324					※印は雇用の行った作業	

（注1）基準値は、静岡県農業試験場のモデル値。

社団法人 中小企業診断協会

（注2）B、C、欄は、診断先の実績を記入。

収益・費用調査表

作目名 里 芋 (エビイモ)

(単位: ケース・円・%)

項 目		基準値	H 年	H 年	H 年	対比 %	摘 要
		A. 10a当り	B. 全 体	C. 全 体	D. 10a当り	D÷A×100	
粗 収 益	生産量	400					ケース数 (kg/ケース)
	販売単価	2,498					ケース単価
	生産額	999,333					
	副産物収入	0					
	合 計	999,333					①
経 営 費	変 動 費	種苗費	10,125				自家で確保
		肥料費	66,050				
		農薬費	59,246				
		光熱動力費	4,230				
		諸材料費	12,950				
		小農具費	738				
		賃料料金	0				
		雇用労賃	34,425				
		水利費	0				
		その他	14,375				車検料他
		計	202,139				
	出 荷 経 費	資材費	24,000				ダンボール他
		運賃	27,000				
		手数料	114,923				市場8.5%、JA3%
		その他	56,000				共選料
		計	221,923				
	固 定 費	小 計	424,062				
		減価償却費	51,906				
		成園費・成畜費	0				
		借地料	0				
		修繕費	20,084				
		その他	0				
		小 計	71,990				
	合 計	496,052					②
成 果	農 業 所 得	503,281					③=①-②
	所 得 率	50.4%					③÷①
	労働1時間当り所得	1,861					③÷T (円/時間)
家族労働見積額		486,900					
自己資本利子見積額		13,346					
自己地代見積額		10,000					
生産費 (全額参入生産費)		1,006,298					④
利潤		-6,965					⑤=①-④
利潤率		-.7%					⑤÷①
総労働時間 (時間)		311					
家族労働時間		271					T
雇用労働時間		41					
損益分岐点売上高							
損益分岐点販売量							

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場モデル。

社団法人 中小企業診断協会

(注2) B、C欄は、診断先の実績を記入する。

(注3) 栽培面積1aの場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

経営分析表

〈野菜作経営全体〉

部門	No	項目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業 収 支	1	農業粗収益	大	千円	5,360					
	2	農業経営費	小	千円	3,021					
	3	農業所得	大	千円	2,339					
分析 指 標	4	農業所得率	大	%	44.4					
	5	付加価値額	大	千円	2,695					
	6	付加価値率	大	%	84.6					
	7	農業固定資産 装備率	大	円	1,230					
収 益 性	8	農業経営関与者 1人当り農業所得	大	千円	1,053					
	9	農業経営関与者 1人当り総所得	大	千円	2,375					
	10	農業専従者 1人当り農業所得	大	千円	1,925					
	11	家族農業労働 1時間当たり	大	円	768					
	12	農業固定資産 千円当たり	大	円	585					
	13	野菜作付延べ面積 10a当たり	大	千円	333					
生 産 性	14	自営農業労働 1時間当たり	大	円	787					
	15	農業固定資産 千円当たり	大	円	640					
	16	野菜作付延べ面積 10a当たり	大	円	364					
経 営 概 況	17	月平均農業経営 関与者数	—	人	2.34					
	18	経営耕地面積	—	a	182					
	19	自営農業労働時間	小	時間	3,423					

※ 県平均は、面積規模平均値としての利用でも可。全国平均値は農水省統計H16年度。

収益・費用調査表

作目名 馬 鈴 薯 (トンネル・マルチ栽培)

(単位: ケース・円・%)

項 目		基準値	H 年	H 年	H 年	対 比 %	摘 要
		A. 10㍍当り	B. 全 体	C. 全 体	D. 10㍍当り	D÷A×100	
粗 収 益	生産量	300					出荷ケース数
	販売単価	1,656					1 ケース (= 10kg) 単価
	生産額	496,800					
	副産物収入	0					
	合 計	496,800					①
経 営 費	変 動 費	種苗費	20,020				種芋
		肥料費	31,120				配合肥料等
		農薬費	13,731				
		光熱動力費	10,005				電気、ガソリン他
		諸材料費	30,694				トンネル資材、マルチ他
		小農具費	6,000				
		賃料料金	0				
		雇用労賃	29,322				850円/時間
		水利費	0				
		その他	0				
		計	140,892				
	出 荷 経 費	資材費	71,700				ダンボール、選別経費
		運賃	33,300				
		手数料	57,132				相場9%、JA2%、委託運1%
		その他	0				
		計	162,132				
	小 計	303,024					
	固 定 費	減価償却費	32,769				跡地アーン、トラクター、作業台車
		成函費・成畜費	0				
		借地料	9,000				
		修繕費	14,124				
		その他	0				
	小 計	55,893					②
	合 計	358,916					③=①-②
成	農 業 所 得	137,884					③÷①
果	所 得 率	27.8%					③÷T
	労働1時間当り所得	3,535					
	家族労働見積額	70,207					
	自己資本利子見積額	9,360					
	自己地代見積額	1,000					
	生産費(全額参入生産費)	439,483					④
	利潤	57,317					⑤=①-④
	利潤率	11.5%					⑤÷①
	総労働時間(時間)	74					
	家族労働時間	39					T
	雇用労働時間	34					
	損益分岐点売上高						
	損益分岐点販売量						

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場モデル。

(注2) B、C欄は、診断先の実績を記入する。

社団法人 中小企業診断協会

作業労働時間調査表

作目名 葉ねぎ

〈作業別・時期別労働時間・10㌥当り〉

区 分		基 準 値	診 断 対 象				(%) D÷A×100	備 考
		H 年	H 年	H 年	H 年			
		A10㌥当り	B 全 体	C 全 体	D10㌥当り			
(1)作付け面積			1.5 ㌥				3.7 作の周年栽培	
(2)延作業人数								
○内雇人数			30(28)人				常雇3人・臨時25人	
(3)労働時間合計			2,050 時間					
○1人当り労働時間								
育 苗	苗受取り	時間	時間	時間	時間			
	計	0						
本 圃	施肥	14.8						
	耕起	7.4						
	播種	7.4						
	定植	13.0						
	防除	16.2						
	灌水・換気	76.2						
	計	135.0						
収 穫	収穫	155.0						
	出荷・調整	1,760.0						
	計	1,915.0						
そ 他								
	計							
合 計		0						
(4)常時供給労働時間								
家族労働時間		2,050.0						
常時雇用労働時間		0						
合 計		2,050.0						

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場のモデル値。

社団法人 中 小 企 業 診 断 協 会

(注2) B. C. 欄は、診断先の実績を記入。

収益・費用調査表

作目名 葉 ね ぎ (ハウス栽培)

(単位: ケース・円・%)

項 目		基準値 A. 10㍻当り	H 年 B. 全 体	H 年 C. 全 体	H 年 D. 10㍻当り	対比 % D÷A×100	摘 要
粗 収 益	生産量	1,000					ケース数 (3 kg/ケース)
	販売単価	950					ケース単価
	生産額	950,000					
	副産物収入	0					
	合 計	950,000					①
経 営 費	変 動 費	直 接 生産 費					
		種苗費	70,000				
		肥料費	26,410				
		農薬費	28,569				
		光熱動力費	13,991				
		諸材料費	6,600				
		小農具費	330				
		賃料料金	22,850				定植、収穫委託料
		雇用労賃	0				
		水利費	0				
		その他	2,974				
		計	171,724				
	出 荷 経 費	資材費	84,000				ダンボール他
		運賃	84,000				
		手数料	109,250				市場 8.5%、JA 3%
		その他	155,000				共通料
		計	432,250				
	小 計	603,974					
	固 定 費	減価償却費	20,966				
		成園費・成否費	0				
		借地料	10,000				
		修繕費	8,586				
		その他	0				
	小 計	39,553					
	合 計	643,527					②
成 果	農 業 所 得	306,473					③=①-②
	所 得 率	32.3 %					③÷①
	労働1時間当り所得	3,108					③÷T (円/時間)
家族労働見積額		177,467					
自己資本利子見積額		9,928					
自己地代見積額		0					
生産費 (全額参入生産費)		830,922					④
利潤		119,078					⑤=①-④
利潤率		12.5 %					⑤÷①
総労働時間 (時間)		99					
家族労働時間		99					T
雇用労働時間		0					
損益分岐点売上高							
損益分岐点販売量							

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場モデル。

(注2) B、C欄は、診断先の実績を記入する。

社団法人 中 小 企 業 診 断 協 会

作業労働時間調査表

作目名 白ねぎ

〈作業別・時期別労働時間・10%当り〉

区 分	基 準 値	診 断 対 象				(%) D÷A×100	備 考
	H 年 A10%当り	H 年 B 全 体	H 年 C 全 体	H 年 D10%当り			
(1)作付け面積							
(2)延作業人数 ○内雇人数	2						2人（0人） 定植はJA委託
(3)労働時間合計 ○1人当り労働時間	98.6						(1,972 時間)
①育苗労働時間	時間	時間	時間	時間			
②本舗労働時間計	51.9						
ア土壌消毒	0.2						
イ耕盤破碎	1.0						
ウ耕うん	5.0						
エ元肥	2.0						
オ畝立	4.0						
カJA委託定植	0						
キ除草剤散布	2.5						
ク追肥	6.2						
ケ土寄せ	20.0						
コ防除	11.1						
③間接労働時間計	46.0						
ア収穫・粗選別	32.0						※分別作業
イ出荷	14.0						
④その他	0.7						
ア緑肥・播種	0.2						
イ緑肥・すき込み	0.5						
(4)労働時間区分							
①家族労働（男女2人）	98.6						
②雇 用（女2人）							※印は雇用の行った作業

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場のモデル値。

社団法人 中小企業診断協会

(注2) B. C. 欄は、診断先の実績を記入。

収益・費用調査表

作目名 白ねぎ (ハウス周年栽培)

(単位: ケース・円・%)

項 目		基準値	H 年	H 年	H 年	対比 %	摘 要
		A. 10%当り	B. 全 体	C. 全 体	D. 10%当り	D÷A×100	
粗 収 益	生産量	2,000					出荷箱数
	販売単価	2,413					単価1箱13kg入り
	生産額	4,826,000					
	副産物収入	0					
	合 計	4,826,000					①
経 営 費	変 更 費	種苗費	57,750				
		肥料費	153,968				配合肥料他
		農薬費	33,258				
		光熱動力費	116,767				ガソリン、重油他
		諸材料費	50,000				ビニール、防虫網
		小農具費	3,334				
		賃料料金	0				
		雇用労賃	1,897,060				850 円/時間
		水利費	0				
		その他	0				
		計	2,312,137				
	出 荷 経 費	資材費	585,002				発砲スチロール他
		運賃	210,000				
		手数料	554,990				特8.5%, JA2%, 協賛1%, 予治費
		その他	0				
		計	1,350,090				
	小 計	3,662,227					ビニールハウス、農具、肥料、農薬
	固 定 費	減価償却費	231,101				
		成園費・成否費	0				
		借地料	0				
		修繕費	64,025				
		その他	0				
	小 計	295,126					
	合 計	3,957,354					②
成 果	農 業 所 得	868,646					③=①-②
	所 得 率	18.0%					③÷①
	労働1時間当り所得	3,232					③÷T (円/時間)
	家族労働見積額	483,840					
	自己資本利子見積額	66,789					
	自己地代見積額	20,000					
	生産費 (全額参入生産費)	4,527,983					④
	利潤	298,017					⑤=①-④
	利潤率	6.2%					⑤÷①
	総労働時間 (時間)	2,050					
	家族労働時間	269					T
	雇用労働時間	1,781					
損益分岐点売上高							
損益分岐点販売量							

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場モデル。

社団法人 中小企業診断協会

(注2) B. C欄は、診断先の実績を記入する。

(注3) 栽培面積1畧の場合、およそ基準値の10倍の数値になると考えられる。

作業労働時間調査表

作目名 レタス（トンネル栽培）

〈作業別・時期別労働時間・10㍻当り〉

区 分		基 準 値	診 断 対 象				(%)	備 考
		H 年	H 年	H 年	H 年			
		A10㍻-当り	B 全 体	C 全 体	D10㍻-当り			
(1)作付け面積								
(2)延作業人数								
○内雇人数								
(3)労働時間合計								
○1人当り労働時間								
育 苗		0時間	時間	時間	時間			
	計	0						
本 圃	施肥	2.0						
	耕耘・マルチ	8.0						
	定植	22.4						
	灌水管理	7.0						
	防除	8.0						
	トンネル被覆	3.1						
	温度管理	13.0						
	二重被覆	3.1						
	片付け	6.8						
	計	73.4						
収 穫	収穫	67.2						
	調整・荷造り	67.2						
	出荷	1.4						
	計	135.8						
そ 他								
	計	0						
合 計		209.2						
(4)常時供給労働時間								
家族労働時間(2人)		59.0						
常時雇用労働時間(4人)		152.0						

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場のモデル値。

社団法人 中小企業診断協会

(注2) B. C. 欄は、診断先の実績を記入。

収益・費用調査表

作目名 レタス（トンネル栽培）

（単位：ケース・円・％）

項 目		基準値	H 年	H 年	H 年	対比 ٪	摘 要
		A. 10㎡当り	B. 全 体	C. 全 体	D. 10㎡当り	D÷A×100	
粗 収 益	生産量 _j	280					出荷ケース数
	販売単価	2,333					ケース単価(1ケース10kg)
	生産額	653,240					
	副産物収入	0					
	合 計	653,240					①
経 営 費	変 接 生 産 費	種苗費	28,000				セル成型苗
		肥料費	39,970				ペレット肥料他
		農薬費	13,824				
		光熱動力費	3,486				ガソリン、灯油
		諸材料費	29,607				ビニール、マルチ他
		小農具費	2,600				
		賃料料金	0				
		雇用労賃	128,034				850 円/時間
		水利費	0				
		その他	0				
		計	245,521				
	出 荷 経 費	資材費	72,576				ダンボール、ラップ
		運賃	44,800				
		手数料	75,123				※場8、5%、JA2%、協同通1%
		その他	0				
		計	192,499				
	小 計	438,020					
	固 定 費	減価償却費	83,663				レタス包み機、トラクター、作業食糧
		成函費・成畜費	0				
		借地料	0				
		修繕費	5,450				
		その他	0				
	小 計	89,113					
	合 計	527,133					②
成 果	農 業 所 得	126,107					③=①-②
	所 得 率	19.3%					③÷①
	労働1時間当り所得	2,154					③÷T
家族労働見積額		105,377					
自己資本金子見積額		5,451					
自己地代見積額		12,000					
生産費（全額参入生産費）		649,961					④
利潤		3,279					⑤=①-④
利潤率		0.5%					⑤÷①
総労働時間（時間）		209					
家族労働時間		59					T
雇用労働時間		151					
損益分岐点売上高							
損益分岐点販売量							

（注1）基準値は、静岡県農業試験場モデル。

（注2）B、C欄は、診断先の実績を記入する。

（注3）栽培面積1畝の場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

社団法人 中小企業診断協会

作業別労働時間調査表

作目名 チンゲンサイ（ハウス栽培）

〈作業別・時期別労働時間・10㍻当り〉

区 分		基 準 値	診 断 対 象				(%)	備 考
		H 年	H 年	H 年	H 年			
		A 10%当り	B 全 体	C 全 体	D 10%当り	D÷A×100		
(1)作付け面積								
(2)延作業人数								
()内雇用人数								
(3)労働時間合計								
()1人当り労働時間								
育 苗	苗受取り	時間	時間	時間	時間			
	計							
本 圃	施肥 耕起 マルチ 定植 防除 灌水 換気							
	計							
収 穫	収穫 調整・箱詰め 出荷							
	計							
そ 他								
	計							
合 計								
(4)常時供給労働時間								
家族労働時間								
常時雇用労働時間								
合 計								

※ 基準値は、都道府県モデル数値又は農林商統計指標を入れる。 社団法人 中小企業診断協会
 ※ B. C. 欄は、診断先の実績を記入。

収益・費用調査表

作目名 チンゲンサイ（ハウス栽培）

（単位：ケース・円・％）

項 目		基準値	H 年	H 年	H 年	対比 ٪	摘 要
		A. 10㍻当り	B. 全 体	C. 全 体	D. 10㍻当り	D÷A×100	
粗 収 益	生産量	11,610					出荷箱数
	販売単価	552					単位は箱単位。1箱は2㍻入り。
	生産額	6,408,720					
	副産物収入	0					
	合 計	6,408,720					①
経 営 費	変 動 費	種苗費	630,000				セル成型苗の購入
		肥料費	166,300				配合肥料他
		農薬費	62,628				
		光熱動力費	49,800				ガソリン、重油他
		諸材料費	126,470				ビニール、マルチ、防虫網
		小農具費	360				
		賃料料金	0				
		雇用労賃	1,361,998				850 円/時間
		水利費	0				
		その他	0				
		計	2,397,556				
	出 荷 経 費	資材費	838,242				ダンボール他
		運賃	812,700				
		手数料	829,883				市場分、5%、JA2%、経路運1%、手数料
		その他	0				
		計	2,480,825				
	小 計	4,878,380					ビニールハウス、暖房設備、暖房費
	固 定 費	減価償却費	496,354				
		成園費・成舎費	0				
		借地料	0				
		修繕費	141,456				
		その他	0				
	小 計	637,810					
	合 計	5,516,190					②
成	農 業 所 得	892,530					③=①-②
果	所 得 率	13.9%					③÷①
	労働1時間当り所得	2,214					③÷T（円/時間）
	家族労働見積額	725,760					
	自己資本利子見積額	140,410					
	自己地代見積額	10,000					
	生産費（全額参入生産費）	6,392,361					④
	利潤	16,359					⑤=①-④
	利潤率	0.3%					⑤÷①
	総労働時間（時間）	2,006					
	家族労働時間	403					T
	雇用労働時間	1,602					
	損益分岐点売上高						
	損益分岐点販売量						

（注1）基準値は、静岡県農業試験場モデル。

社団法人 中小企業診断協会

（注2）B、C欄は、診断先の実績を記入する。

（注3）栽培面積1㍻の場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

作業労働時間調査表

作目名 セルリー (2期作冬・春どり)

〈作業別・時期別労働時間10㌦当り〉

区 分		基 準 値	診 断 対 象			(%) D÷A×100	備 考
		H 年	H 年	H 年	H 年		
		A10㌦当り	B 全 体	C 全 体	D10㌦当り		
(1)作付け面積							
(2)延作業人数 ○内雇人数							
(3)労働時間合計 ○1人当り労働時間							
育 苗	【冬どり】	時間	時間	時間	時間		
	鉢植え	22.0					
	灌水	12.1					
	防除	1.4					
	【春どり】						
	鉢植え	32.0					
	灌水	12.1					
	防除	1.4					
	計	91.0					
本 圃	【冬どり】						
	土壌消毒	4.0					
	施肥	3.4					
	耕起	8.0					
	定職	36.0					
	芽かき下葉かき	40.0					
	ビニール貼り	24.0					
	換気	1.5					
	防除	4.5					
	ジベレリン処理	4.4					
	その他栽培管理	4.0					
	【春どり】						
	施肥	2.5					
	耕起	8.0					
	定植	36.0					
	葉かき芽かき	40.0					
	換気	5.5					
	防除	3.0					
	ジベレリン処理	4.0					
	その他栽培管理	-					
	小 計	224.3					
収 穫	【冬どり】						
	収穫	100.0					
	出荷	0.2					
	【春どり】						
	収穫	100.0					
そ の 他	出荷	0.2					
	計	200.4					
	【冬どり】						
	かたづけ	16.0					
	【春どり】						
	かたづけ	16.0					
	計	32.0					
合 計		547.6					

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場のモデル値

(注2) B. C. 欄は、診断先の実績を記入

社団法人 中小企業診断協会

収益・費用調査表

作目名 セルリ（2期作-冬・春どり）

（単位：ケース・円・％）

項 目		基準値	H 年	H 年	H 年	対 比 率	摘 要
		A. 10a当り	B. 全 体	C. 全 体	D. 10a当り	D÷A×100	
粗 収 益	生産量	688					出荷箱数
	販売単価	2,183					基準は青果箱、1箱は10kg入り
	生産額	1,502,133					
	副産物収入	0					①
	合 計	1,502,133					セル成型苗の購入
経 営 費	変 動 費	種苗費	49,020				配合肥料他
		肥料費	51,690				
		農薬費	46,579				ガソリン、重油他
		光熱動力費	7,839				ビニール、マルチ
		諸材料費	76,183				
		小農具費	1,075				
		賃料料金	0				臨時雇用 850円/時間
		雇用労賃	178,897				
		水利費	5,500				
		その他	0				
		計	416,783				ダンボール他
	出 荷 経 費	資材費	88,439				
		運賃	121,088				
		手数料	216,777				容積8.5%, J A 2%, 経路運1%, 予冷経費
		その他	0				
		計	426,304				
	小 計		843,087				
	固 定 費	減価償却費	96,221				ビニールハウス、農業機械、器具等
		成園費・成畜費	0				
		借地料	3,600				
		修繕費	27,118				
		その他	0				
	小 計		126,939				
	合 計		970,027				②
成 果	農 業 所 得	532,107					③=①-②
	所 得 率	35.4%					③÷①
	労働1時間当り所得	4,477					③÷T（円/時間）
家族労働見積額		213,959					
自己資本利子見積額		27,089					
自己地代見積額		4,000					
生産費（全額参入生産費）		1,215,075					④
利潤		287,058					⑤=①-④
利潤率		19.1%					⑤÷①
総労働時間（時間）		276					
家族労働時間		119					T
雇用労働時間		158					

（注1）基準値は、静岡県農業試験場モデル。

（注2）B、C欄は、診断先の実績を記入する。

社団法人 中小企業診断協会

経営分析表

〈露地野菜作経営〉

部門	No	項目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業収支	1	農業粗収益	大	千円	4,283					
	2	農業経営費	小	千円	2,413					
	3	農業所得	大	千円	1,870					
分析指標	4	農業所得率	大	%	44.3					
	5	付加価値額	大	千円	2,109					
	6	付加価値率	大	%	47.7					
	7	農業固定資産 設備率	大	円	1,783					
収益性	8	農業経営関与者 1人当り農業所得	大	千円	858					
	9	農業経営関与者 1人当り総所得	大	千円	2,395					
	10	農業専従者 1人当り農業所得	大	千円	1,795					
	11	家族農業労働 1時間当たり	大	円	708					
	12	農業固定資産 千円当たり	大	円	571					
	13	野菜作付延べ面積 10a当たり	大	千円	248					
生産性	14	自営農業労働 1時間当たり	大	円	728					
	15	農業固定資産 千円当たり	大	円	615					
	16	野菜作付延べ面積 10a当たり	大	円	267					
経営概況	17	月平均農業経営 関与者数	—	人	2.28					
	18	経営耕地面積	—	a	172					
	19	自営農業労働時間	小	時間	2,899					

※ 全国平均値は農水省「H16年度統計」による。

社団法人 中小企業診断協会

経営分析表

〈施設野菜作経営〉

部門	No	項 目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業 収 支	1	農 業 租 収 益	大	千円	8,809					
	2	農 業 経 営 費	小	千円	4,963					
	3	農 業 所 得	大	千円	3,841					
分 析 指 標	4	農 業 所 得 率	大	%	44.7					
	5	付 加 価 値 額	大	千円	4,581					
	6	付 加 価 値 率	大	%	50.0					
	7	農 業 固 定 資 産 装 備 率	大	円	1,313					
収 益 性	8	農 業 経 営 関 与 者 1 人 当 り 農 業 所 得	大	千円	1,625					
	9	農 業 経 営 関 与 者 1 人 当 り 総 所 得	大	千円	2,337					
	10	農 業 専 従 者 1 人 当 り 農 業 所 得	大	千円	2,190					
	11	家 族 農 業 労 働 1 時 間 当 た り	大	円	855					
	12	農 業 固 定 資 産 千 円 当 た り	大	円	610					
	13	野 菜 作 付 延 べ 面 積 1 0 a 当 た り	大	千円	718					
生 産 性	14	自 営 農 業 労 働 1 時 間 当 た り	大	円	896					
	15	農 業 固 定 資 産 千 円 当 た り	大	円	683					
	16	野 菜 作 付 延 べ 面 積 1 0 a 当 た り	大	円	804					
経 営 概 況	17	月 平 均 農 業 経 営 関 与 者 数	—	人	2.52					
	18	経 営 耕 地 面 積	—	a	216					
	19	自 営 農 業 労 働 時 間	小	時間	5,122					

※ 全国平均値は農水省H16年度統計による。

社団法人 中小企業診断協会

経営分析表

〈内用半経営〉（全国）

部門	No	項目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業 収 支	1	農業粗収益	大	千円	17,265					
	2	農業経営費	小	千円	13,627					
	3	農業所得	大	千円	3,638					
分 析 指 標	4	農業所得率	大	%	23.1					
	5	付加価値額	大	千円	4,723					
	6	付加価値率	大	%	25.7					
	7	農業固定資産 装 備 率	大	円	3,200					
収 益 性	8	農業経営関与者 1人当り農業所得	大	千円	1,953					
	9	農業経営関与者 1人当り総所得	大	千円	2,989					
	10	農業専従者 1人当り農業所得	大	千円	4,531					
	11	家族農業労働 1時間当たり所得	大	円	1,739					
	12	農業固定資産 千円当たり所得	大	円	505					
	13				-					
生 産 性・ 付 加 価 値 額	14	自営農業労働 1時間当たり	大	円	1,789					
	15	農業固定資産 千円当たり	大	円	544					
	16				-					
経 営 概 況	17	月平均農業経営 関与者数	一	人	2.25					
	18	経営耕地面積	一	a	250					
	19	自営農業労働時間	小	時間	2,645					
	20	家族労働時間（ゆい含む）	小	〃	2,527					

※ 全国平均値は農水省H16年度統計による。

社団法人 中小企業診断協会

経営分析表

〈繁殖牛経営〉

部門	No	項 目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業 収 支	1	農業粗収益	大	千円	4,779					
	2	農業経営費	小	千円	3,141					
	3	農業所得	大	千円	1,638					
分析 指 標	4	農業所得率	大	%	35.1					
	5	付加価値額	大	千円	1,913					
	6	付加価値率	大	%	37.6					
	7	農業固定資産 装 備 率	大	円	2,846					
収 益 性	8	農業経営関与者 1人当り農業所得	大	千円	797					
	9	農業経営関与者 1人当り総所得	大	千円	1,968					
	10	農業専従者 1人当り農業所得	大	千円	2,152					
	11	家族農業労働 1時間当たり所得	大	円	797					
	12	農業固定資産 千円当たり所得	大	円	272					
	13	繁殖めす牛積 1頭当たり所得	大	千円	179					
生産性・ 付加価値額	14	自営農業労働 1時間当たり	大	円	830					
	15	農業固定資産 千円当たり	大	円	292					
	16	繁殖めす牛 1頭当たり	大	円	191					
経 営 概 況	17	月平均農業経営 関与者数	—	人	2.24					
	18	経営耕地面積	—	a	237					
	19	自営農業労働時間	小	時間	2,304					
	20	家族労働時間(ゆい含む)	小	〃	2,241					

※ 全国平均値は農水省H16年度統計による。

社団法人 中小企業診断協会

経営分析表

〈肥育牛経営〉（肉専用種が主）

部門	No	項目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業収支	1	農業租収益	大	千円	38,748					
	2	農業経営費	小	千円	30,529					
	3	農業所得	大	千円	8,219					
分析指標	4	農業所得率	大	%	21.8					
	5	付加価値額	大	千円	9,418					
	6	付加価値率	大	%	23.6					
	7	農業固定資産 設備率	大	円	3,982					
収益性	8	農業経営関与者 1人当り農業所得	大	千円	3,860					
	9	農業経営関与者 1人当り総所得	大	千円	4,735					
	10	農業専従者 1人当り農業所得	大	千円	7,359					
	11	家族農業労働 1時間当たり所得	大	円	3,009					
	12	農業固定資産 千円当たり所得	大	円	705					
	13	肥育牛 1頭当たり所得	大	千円	217					
生産性・付加価値額	14	自営農業労働 1時間当たり	大	円	3,045					
	15	農業固定資産 千円当たり	大	円	765					
	16	肥育牛 1頭当たり	大	円	235					
経営概況	17	月平均農業経営 関与者数	—	人	2.25					
	18	経営耕地面積	—	a	227					
	19	自営農業労働時間	小	時間	3,093					
	20	家族労働時間（ゆい含む）	小	〃	2,886					

※ 全国平均値は農水省H16年度統計による。

社団法人 中小企業診断協会

経営分析表

〈肥育牛経営〉（乳用種が主）

部門	No	項目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業 収支	1	農業粗収益	大	千円	40,722					
	2	農業経営費	小	千円	36,041					
	3	農業所得	大	千円	4,681					
分析 指標	4	農業所得率	大	%	21.1					
	5	付加価値額	大	千円	10,623					
	6	付加価値率	大	%	22.5					
	7	農業固定資産 装備率	大	円	3,545					
収益 性	8	農業経営関与者 1人当り農業所得	大	千円	4,316					
	9	農業経営関与者 1人当り総所得	大	千円	4,938					
	10	農業専従者 1人当り農業所得	大	千円	8,040					
	11	家族農業労働 1時間当たり所得	大	円	2,988					
	12	農業固定資産 千円当たり所得	大	円	775					
	13	肥育牛 1頭当たり所得	大	千円	76					
生産性・ 付加価値額	14	自営農業労働 1時間当たり	大	円	2,962					
	15	農業固定資産 千円当たり	大	円	825					
	16	肥育牛 1頭当たり	大	円	80					
経営 概況	17	月平均農業経営 関与者数	－	人	2.31					
	18	経営耕地面積	－	a	390					
	19	自営農業労働時間	小	時間	3,630					
	20	家族労働時間（ゆい含む）	小	〃	3,385					

※ 全国平均値は農水省H16年度統計による。

社団法人 中小企業診断協会

経営分析表

〈肥育牛経営〉

部門	No	項目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業収支	1	農業粗収益	大	千円	39,306					
	2	農業経営費	小	千円	32,096					
	3	農業所得	大	千円	7,214					
分析指標	4	農業所得率	大	%	21.6					
	5	付加価値額	大	千円	9,760					
	6	付加価値率	大	%	23.3					
	7	農業固定資産 装 備 率	大	円	3,843					
収益性	8	農業経営関与者 1人当り農業所得	大	千円	3,986					
	9	農業経営関与者 1人当り総所得	大	千円	4,789					
	10	農業専従者 1人当り農業所得	大	千円	7,541					
	11	家族農業労働 1時間当たり所得	大	円	2,988					
	12	農業固定資産 千円当たり所得	大	円	725					
	13	肥育牛 1頭当たり所得	大	千円	139					
生産性・付加価値額	14	自営農業労働 1時間当たり	大	円	3,007					
	15	農業固定資産 千円当たり	大	円	782					
	16	肥育牛 1頭当たり	大	円	150					
経営概況	17	月平均農業経営 関与者数	－	人	2.27					
	18	経営耕地面積	－	a	273					
	19	自営農業労働時間	小	時間	3,246					
	20	家族労働時間(ゆい含む)	小	〃	3,028					

※ 全国平均値は農水省H16年度統計による。

社団法人 中小企業診断協会

経営分析表

〈兼 営 業〉

部門	No	項 目	判定	單位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業 収 支	1	農 業 粗 収 益	大	千 円	38,897					
	2	農 業 経 営 費	小	千 円	31,366					
	3	農 業 所 得	大	千 円	7,531					
分 析 指 標	4	農 業 所 得 率	大	%	21.4					
	5	付 加 価 値 額	大	千 円	9,837					
	6	付 加 価 値 率	大	%	24.1					
	7	農 業 固 定 資 産 装 備 率	大	円	3,706					
収 益 性	8	農 業 経 営 関 与 者 1 人 当 り 農 業 所 得	大	千 円	3,635					
	9	農 業 経 営 関 与 者 1 人 当 り 総 所 得	大	千 円	4,237					
	10	農 業 専 従 者 1 人 当 り 農 業 所 得	大	千 円	5,255					
	11	家 族 農 業 労 働 1 時 間 当 た り 所 得	大	円	2,178					
	12	農 業 固 定 資 産 千 円 当 た り 所 得	大	円	499					
	13	肉 豚 100 頭 当 た り 所 得	大	千 円	754					
生 産 性・ 付 加 価 値 額	14	自 営 農 業 労 働 1 時 間 当 た り	大	円	2,087					
	15	農 業 固 定 資 産 千 円 当 た り	大	円	563					
	16	肉 豚 100 頭 当 た り	大	円	850					
経 営 概 況	17	月 平 均 農 業 経 営 関 与 者 数	—	人	2.40					
	18	経 営 耕 地 面 積	—	a	169					
	19	自 営 農 業 労 働 時 間	小	時 間	4,714					
	20	家 族 労 働 時 間 (ゆい含む)	小	〃	4,005					

※ 全国平均値は農水省H16年度統計による。

社団法人 中小企業診断協会

経営分析表

〈プロイラー養鶏経営〉

部門	No	項目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業収支	1	農業粗収益	大	千円	67,351					
	2	農業経営費	小	千円	62,501					
	3	農業所得	大	千円	4,850					
分析指標	4	農業所得率	大	%	8.3					
	5	付加価値額	大	千円	6,717					
	6	付加価値率	大	%	9.8					
	7	農業固定資産 装備率	大	円	2,636					
収益性	8	農業経営関与者 1人当り農業所得	大	千円	2,676					
	9	農業経営関与者 1人当り総所得	大	千円	3,132					
	10	農業専従者 1人当り農業所得	大	千円	4,081					
	11	家族農業労働 1時間当たり所得	大	円	1,708					
	12	農業固定資産 千円当たり所得	大	円	531					
	13	プロイラー 1万羽当たり所得	大	千円	384					
生産性・付加価値額	14	自営農業労働 1時間当たり	大	円	1,658					
	15	農業固定資産 千円当たり	大	円	629					
	16	プロイラー 1万羽当たり	大	円	455					
経営概況	17	月平均農業経営 関与者数	—	人	2.12					
	18	経営耕地面積	—	a	67					
	19	自営農業労働時間	小	時間	4,052					
	20	家族労働時間(ゆい含む)	小	〃	3,322					

※ 全国平均値は農水省H16年度統計による。

社団法人 中小企業診断協会

経営分析表

〈採卵鶏経営〉

部門	No.	項目	判定	単位	全国平均 (H16) A	県平均 B	H 年 C	H 年 D	D/A・B	備考
農業収支	1	農業粗収益	大	千円	28,493					
	2	農業経営費	小	千円	27,450					
	3	農業所得	大	千円	1,043					
分析指標	4	農業所得率	大	%	5.5					
	5	付加価値額	大	千円	3,064					
	6	付加価値率	大	%	10.2					
	7	農業固定資産 装 備 率	大	円	2,803					
収益性	8	農業経営関与者 1人当り農業所得	大	千円	660					
	9	農業経営関与者 1人当り総所得	大	千円	1,716					
	10	農業専従者 1人当り農業所得	大	千円	905					
	11	家族農業労働 1時間当たり所得	大	円	386					
	12	農業固定資産 千円当たり所得	大	円	105					
	13	採卵鶏 1000羽当たり所得	大	千円	15					
生産性・付加価値額	14	自営農業労働 1時間当たり	大	円	546					
	15	農業固定資産 千円当たり	大	円	195					
	16	採卵鶏 1000羽当たり	大	円	28					
経営概況	17	月平均農業経営 関与者数	－	人	2.51					
	18	経営耕地面積	－	a	110					
	19	自営農業労働時間	小	時間	5,609					
	20	家族労働時間(ゆい含む)	小	〃	4,291					

※ 全国平均値は農水省H16年度統計による。

社団法人 中小企業診断協会

1産取り肥育経営分析指標(収益性)

指 標 項 目		標 準 指 標		指標の設定根拠と条件	H 実 績	
		基 準	目 標			
生産性	早期繁殖技術			実働1人、年間種付け頭数50頭規模の繁殖肥育一貫経営 黒毛和種、舎飼い方式		
		種付け月齢	13ヶ月齢	11～12ヶ月齢	生時体重 26～28kg、種付け体重300kg、生時から種付けまでの1日当り増体量 $0.7\text{kg}<(300-27)/0.7/30=13$	
		種付け体重	300kg	280～300kg	繁殖供用開始時体重280kg 繁殖供用開始から受胎までのDG 0.65kg 供用開始から1ヶ月以内に受胎 $280+0.65\times30=300$	
		受胎率	90%以上	95%以上	1回受精当り受胎率55%、3回まで種付け $0.55+0.55\times(1-0.55)+0.55\times81-0.55)2=0.91$	
		種付け回数	1.5回以内	1.4回以内	$(1\times0.55+2\times0.55\times(1-0.55)+3\times0.55\times(1-0.55)^2)/\text{受胎率}=1.52$	
		分娩前体重	500kg以下	500kg以下	受胎から分娩までの1日当り増体量の上限値0.7kg 妊娠期間 285日 $300+0.7\times285=500$	
		流・死産率	5%以下	3%以下	流産率 3%以下（目標2%以下） 死産率 2%以下（目標1%以下）	
	母牛事故率	3%以下	2%以下	導入から出荷までの事故率 分娩による事故率 2%以下（目標1%以下） その他の事故率 1%以下（目標1%以下）		
	早期離乳技術	子牛離乳月齢	3ヶ月齢	2ヶ月齢	自然哺乳における一般的な早期離乳月齢	
		9ヶ月齢体重			生時体重（初産） DG 9ヶ月齢体重	
		雄子牛	250kg	250kg	28kg 0.7kg $28+0.8\times274=248$	
		雌子牛	220kg	220kg	26kg 0.8kg $26+0.7\times274=220$	
		子牛事故率	3%以下	2%以下	病死 2%以下（目標1%以下） 事故死等 1%以下（目標1%以下）	
	経産牛肥育技術	母牛出荷月齢	32ヶ月齢以内	30ヶ月齢以内	初産月齢 22.5ヶ月 齢授乳期間 3.0ヶ月 肥育期間 6.5ヶ月以内	
		母牛出荷体重	600kg	600kg	分娩直後体重 440kg離乳時体重 470kg 離乳から出荷までの1日当り増体重 0.65kg以上 $470+6.5\times30.4375\times0.65=596\text{kg}$	
		枝肉重量	360kg	360kg	枝肉歩留 60% $600\text{kg}\times0.6=360\text{kg}$	
		歩留等級(A)	80%以上	90%以上	未經産肥育牛の枝肉格付け実績は72%（昭和63年度） 1産取り肥育の先進事例では90%程度の実績 標準指標は両者の中間値の80%以上	
		肉質等級(4・5)	60%以上	60%以上	未經産肥育牛の全国枝肉格付け実績 59%（昭和63年度）	
	不妊牛肥育技術	不妊牛出荷月齢	28ヶ月齢以内	26ヶ月齢以内	肥育開始時月齢 15ヶ月齢 肥育開始時体重 340kg 肥育期間の1日当り増体量 0.65kg以上 出荷体重 600kg $15+((600-340)/0.65)/30.4375=28$	
		不妊牛出荷体重	600kg	600kg	経産牛肥育の標準指標に準拠	
		枝肉重量	370kg	370kg	枝肉歩留 62% $600\text{kg}\times0.62=372\text{kg}$	
		歩留等級(A)	80%以上	90%以上	経産牛肥育の標準指標に準拠	
		肉質等級(4・5)	60%以上	60%以上	経産牛肥育の標準指標に準拠	

去勢若齢肥育経営分析表(収益性)

指標項目		標準指標		指標の設定根拠と条件	H 年実績
		基準	目標		
収益性	家族労働力1人1日当り労働報酬	9,000円以上		農外就業に対抗する労働報酬水準としての他産業水準(製造業5~29人規模の平均労賃水準)	
	家族労働力1人当り年間所得	360万円以上		肥育牛1頭当り年間所得6万円×労働力1人当り肥育牛飼養頭数60頭	
	肥育牛1頭当り年間所得	6万円以上		所得360万円/労働力1人当り肥育牛飼養頭数60頭	
	所得率	15%以上		実態値を勘案して設定	
	経営資本利益率	5.3%以上		(自己資本利率×自己資本比率+危険率)+経営利付他人資本利率×経営利付他人資本比率	
肥育技術	肥育牛出荷時月齢	27.0ヶ月	24.0ヶ月以内		
	肥育日数	550日	455日	(肥育牛出荷時月齢-肥育開始月齢9ヶ月)×30.4日	
	肥育牛出荷時体重	650kg	650kg		
	1日当り増体重	0.70kg	0.84kg以上	(肥育牛出荷時体重-肥育開始時体重270kg)/肥育日数550日	
	対導入頭数事故率	2.10%	1.2%以上	廃・斃死頭数/導入頭数	
	出荷牛1頭当り枝肉生産量	395kg	395kg	枝肉歩留61%(出荷時体重対比)×肥育牛出荷時体重650kg	
	枝肉規格 歩留等級「A」率	76%	76%以上	「A」率 % (日格協63年度実績)	
	肉質等級「5・4」率	62%	62%以上	「5・4」率 % (日格協63年度実績)	
	粗飼料比率 DM (TDN)	5% (1)	25% (16%)	肥育牛に対する粗飼料の生理的必要量(15%以上)のほか、肥育前期における乾草給与を含む。	
	TDN充足率	110%	105%以上	安全率を含む	
生産性	飼料給与				
	肥育牛1頭当り濃厚飼料給与量	3,410kg	3,030kg	TDN要求量×飼料中濃厚飼料比率/全濃厚飼料中TDN含量×TDN充足率	
	肥育牛1頭当り粗飼料給与量	1,150kg	1,030kg	TDN要求量×飼料中粗飼料比率/全粗飼料中TDN含量×TDN充足率	
	肥育牛1頭当り濃厚飼料要求率	9.0	8.1以下	肥育牛1頭当り年間濃厚飼料給与量/(肥育牛出荷時体重-肥育開始時体重270kg)	
	肥育牛1頭当りカルシウム食塩給与量	60kg	50kg	カルシウム:食塩(1:1)、1日当り110g×肥育日数	
安全性	労働投下				
	出荷牛1頭当り飼養管理労働時間	33.2時間以内		実態値とモデル試算勘案	
	流動比率	130%以上	350%以上	肥育期間2年以内における肉牛価格の変動幅を前提し、高値導入・安価販売時においても流動負債の返済が可能な水準を目安に設定。流動資産に占める家畜比率70%と設定。	
	長期資本固定比率 (長期資本対固定資産比)	100%以上	250%以上	固定資本投下の健全性からみた限界水準。	
	自己資本固定比率 (自己資本対固定資産比)	100%以上	250%以上	固定資本投下の健全性からみた限界水準。	
	自己資本比率	25%以上	60%以上	固定資産構成比率×自己資本固定比率×100 自己資本固定比率標準数値前提。固定資産構成比率25%。	
	償却費加算経営余剰償還負担率	100%以下		家族経営継続のための限界水準	
	正味経営余剰償還負担率		100%以下	自己資金による固定資産取得のための必要条件	

1産取り肥育経営分析表(収益性)

生産性	早期繁殖技術			実働1人、年間種付け頭数50頭規模の繁殖肥育一貫経営 黒毛和種、舎飼い方式	
		種付け月齢	13ヶ月齢	11~12ヶ月齢	生時体重 26~28kg、種付け体重300kg、生時から種付けまでの1日当り増体量0.7kg<(300-27)/0.7/30=13
		種付け体重	300kg	280~300kg	繁殖供用開始から受胎までのDG 0.65kg 供用開始から1ヶ月以内に受胎 280+0.65×30=300
		受胎率	90%以上	95%以上	1回受精当り受胎率55%、3回まで種付け $0.55+0.55 \times (1-0.55)+0.55 \times 81-0.55)2=0.91$
		種付け回数	1.5回以内	1.4回以内	$(1 \times 0.55+2 \times 0.55 \times (1-0.55)+3 \times 0.55 \times (1-0.55)^2)/$ 受胎率=1.52
		分娩前体重	500kg以下	500kg以下	受胎から分娩までの1日当り増体量の上限値0.7kg 妊娠期間 285日
		流・死産率	5%以下	3%以下	流産率 3%以下 (目標2%以下) 死産率 2%以下 (目標1%以下)
		母牛事故率	3%以下	2%以下	導入から出荷までの事故率 分娩による事故率 2%以下(目標1%以下) その他の事故率 1%以下(目標1%以下)

指標項目		標準指標		指標の設定根拠と条件	H 年実績
		基準	目標		
生産性	早期離乳技術	子牛離乳月齢	3ヶ月齢	2ヶ月齢	自然哺乳における一般的な早期離乳月齢
		9ヶ月齢体重			生時体重(初産) DG 9ヶ月齢体重
		雄子牛	250kg	250kg	28kg 0.7kg 28+0.8×274=248
		雌子牛	220kg	220kg	26kg 0.8kg 26+0.7×274=220
		子牛事故率	3%以下	2%以下	病死 2%以下(目標1%以下) 事故死等 1%以下(目標1%以下)
	経産牛肥育技術	母牛出荷月齢	32ヶ月齢以内	30ヶ月齢以内	初産月齢 22.5ヶ月 齢授乳期間 3.0ヶ月 肥育期間 6.5ヶ月以内
		母牛出荷体重	600kg	600kg	分娩直後体重 440kg離乳時体重 470kg 離乳から出荷までの1日当り増体重0.65kg以上 470+6.5×30.4375×0.65=596kg
		枝肉重量	360kg	360kg	枝肉歩留 60% 600kg×0.6=360kg
		歩留等級(A)	80%以上	90%以上	未經産肥育牛の枝肉格付け実績は72%(昭和63年度) 1産取り肥育の先進事例では90%程度の実績 標準指標は両者の中間値の80%以上
		肉質等級(4・5)	60%以上	60%以上	未經産肥育牛の全国枝肉格付け実績 59%(昭和63年度)
	不妊牛肥育技術	不妊牛出荷月齢	28ヶ月齢以内	26ヶ月齢以内	肥育開始時月齢 15ヶ月齢 肥育開始時体重 340kg 肥育期間の1日当り増体量 0.65kg以上 出荷体重 600kg 15+((600-340)/0.65)/30.4375=28
		不妊牛出荷体重	600kg	600kg	経産牛肥育の標準指標に準拠
		枝肉重量	370kg	370kg	枝肉歩留 62% 600kg×0.62=372kg
		歩留等級(A)	80%以上	90%以上	経産牛肥育の標準指標に準拠
		肉質等級(4・5)	60%以上	60%以上	経産牛肥育の標準指標に準拠
	飼料給与	母牛1頭当り濃厚飼料給与量 母牛に対する粗飼料給与 比率(乾物)	3,530kg 40%		日本飼養標準(肉用牛、1987年版)に準拠 導入から分娩後肥育して出荷するまでの給与量 給与飼料の乾物中の粗飼料比率
		子牛1頭当り濃厚飼料給与量 子牛に対する粗飼料給与 比率(乾物)	484kg 50%		生時から9ヶ月齢までの給与量 給与飼料の乾物中の粗飼料比率 ただし、母乳からの摂取量は含まない
		不妊牛1頭当り濃厚飼料給与量 不妊牛に対する粗飼料給与 比率(乾物)	3,340kg 25%		導入から不妊のため肥育して出荷するまでの給与 量 給与飼料の乾物中の粗飼料比率
	自給飼料生産	10a当り年間乾物利用収量	2.07t	2.51t	年間生草収量:9.6t、乾物率は基準が27%・目標は31%、利用率は基準が89%・目標が85%。
		10a当り年間TDN利用収量	1.30t	1.66t	年間生草収量:9.6t、乾物率は基準が27%・標準が31%、利用率は基準が80%・目標が85%、TDN%は基準が63%・目標が66%
		10a当り年間労働時間	27h	23h	基準は個別作業、目標は2戸共同作業
		10a当り年間機械・施設費用	4.0万円	4.0万円	機械は2戸共同所有
		10a当り年間生産費用	9.7万円	9.3万円	労働1時間当り1,150円。資材費は基準・目標とも同じ。
		乾物1kg当り生産費用	47円	37円	サイレージ利用乾物量÷総生産費用、利用率は基準80%・目標が85%
		TDN1kg当り生産費用	75円	56円	ホールクロップサイレージ体系(トウモロコシと大麦の2毛作)。基準指標はコーン;68円、大麦;86円、目標指標はコーン;52円、大麦;62円

(資料出所) 中央畜産会『肉用種肥育経営の経営改善指導指標・把握算式一覧』による作表

	指 標 項 目	算 出 方 法	基準値A	H 年 実績 B	B/A×100
(4)	(早期繁殖技術)				
	種付月齢 (月齢)	種付(繁殖供用)時月齢			
	種付月齢 (kg)	種付(繁殖供用)時体重			
	種付回数 (回)	$\frac{\text{受胎に要した種付回数}}{\text{受胎頭数}}$			
	受胎率 (%)	$\frac{\text{受胎頭数}}{\text{種付した頭数}} \times 100\%$			
	分娩前体重 (kg)	母牛の分娩前の体重			
	死・流産率 (%)	$\frac{\text{死・流産頭数}}{\text{当期受胎頭数}} \times 100\%$			
	母牛事故率 (%)	$\frac{\text{母牛の死・廃事故頭数}}{\text{母牛常時飼養頭数}} \times 100\%$			
(5)	(早期離乳技術)				
	子牛離乳月齢 (月齢)	子牛の離乳月齢			
	9ヶ月齢体重 雄子牛(kg)	雄子牛の9ヶ月齢の体重			
	雌子牛 (kg)	雌子の牛9ヶ月齢の体重			
	子牛事故率 (%)	$\frac{\text{子牛の死・廃事故頭数}}{\text{子牛常時飼養頭数}} \times 100\%$			
(6)	(経産牛肥育技術)				
	母牛出荷月齢 (月齢)	母牛の出荷時月齢			
	母牛出荷体重 (kg)	母牛の出荷時体重			
	枝肉重量 (kg)	母牛の出荷時体重×母牛の枝肉歩留			
	枝肉規格 歩留等級「A」率 (%)	$\frac{\text{歩留等級「A」の頭数}}{\text{総出荷頭数}} \times 100\%$			
	枝肉規格 肉質等級「4・5」率 (%)	$\frac{\text{肉質等級「4・5」の頭数}}{\text{総出荷頭数}} \times 100\%$			
(7)	(不妊牛肥育技術)				
	不妊牛出荷月齢 (月齢)	不妊牛の出荷時月齢			
	不妊牛出荷体重 (kg)	不妊牛の出荷時体重			
	枝肉重量 (kg)	不妊牛の出荷時体重×不妊牛の枝肉歩留			
	枝肉規格 歩留等級「A」率 (%)	$\frac{\text{歩留等級「A」の頭数}}{\text{総出荷頭数}} \times 100\%$			
	枝肉規格 肉質等級「4・5」率 (%)	$\frac{\text{肉質等級「4・5」の頭数}}{\text{総出荷頭数}} \times 100\%$			
(8)	(飼料給与)				
	母牛1頭当り 濃厚飼料給与量 (kg)	導入から分娩後肥育して出荷するまでの給与量			
	母牛に対する粗飼料 給与比率(乾物) (%)	給与飼料の乾物中の粗飼料比率			

注) ・ 経常利益＝売上高－売上原価－販売・一般管理費＋営業外収益－営業外費用
・ 売上原価＝飼料費、労働費、減価償却費などの当期生産費用
・ 販売・一般管理費……販売経費、家畜共済掛金、肥育経営に係る固定資産税等の租税公課諸負担など
・ 営業外収益……飼育牛処分益、受取利益など
・ 営業外費用……飼育牛処分損、支払利息、支払地代など
(参考) 所得＝経常利益＋家族労働費

(資料出所) 中央畜産会『肉用種肥育経営の経営改善指導指標・把握算式一覧』による作表

農業経営診断予備調査書 (法人用1-1)

〈水稻・麦・大豆〉

(平成 年 月現在)

診断希望事項							
1. 生産法人の概要	法人の形態	①農業法人②農業生産法人(組・組合・2号)				5. 就農・法人設立の経緯	
	法人名						
	〒	区					
	所在地						
	代表者名	(年齢)					
	営業年数	年 (うち法人化 年)					
	集落組織参加	①している (法人) ②考慮中					
	エコファーマー	平成 年 月 日 認定					
認定農業者	第1回認定・平成 年 月・第 回 年 月						
2. 生産部門該当に○印	(1) 耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作					
		④豆類作 ⑤芋類作 ⑥飼料作					
		⑦工芸作物作 () ⑧施設野菜作					
		⑨露地野菜作 ⑩果樹作					
		⑪施設花き作 ⑫露地花き作					
		⑬その他 ()					
	(2) 畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他					
	(3) 養蚕	①養蚕					
	(4) 加工	①農産物加工 (品名)					
		②畜産物加工 (品名)					
③林産加工 (品名)							
3. 農業経営の現状と計画	◆作目・割合	作物面積 (現在)	生産量 (現在)	◆作物面積第 回認定時	生産量第 回認定時	備考	
	①	%	トン				
	②						
	③						
	④						
	経営面積合計	%	トン				
	◆経営耕地	地 目	面 積	◆ 地 目	面 積		
	①所有地	畑・水田・他	%		%		
	借入地	畑・水田・他	%		%		
	◆作業受委託	作業内容	面積等	◆ 作業受委託	面 積		
		%		%			
4. 生産方式	◆機械・器具	形式・性能	台数・面積等	◆生産方式の合理化			
	①トラクター						
	②コンバイン他						
	③建物施設						
	④加工施設						
	◆農用地の現状	①30㌥区画主体	②耕地がブロック () に分散	③ハウス併設 (ガラス・ビニール)			

指標項目		標準指標		指標の設定根拠と条件	H 実 績
		基準	目標		
生産性	飼料給与			日本飼養標準(肉用牛、1987年版)に準拠	
		母牛1頭当り濃厚飼料給与量	3,530kg	導入から分挽後肥育して出荷するまでの給与量	
		母牛に対する粗飼料給与比率(乾物)	40%	給与飼料の乾物中の粗飼料比率	
		子牛1頭当り濃厚飼料給与量	484kg	生時から9ヶ月齢までの給与量	
		子牛に対する粗飼料給与比率(乾物)	50%	給与飼料の乾物中の粗飼料比率 ただし、母乳からの摂取量は含まない	
		不妊牛1頭当り濃厚飼料給与量	3,340kg	導入から不妊のため肥育して出荷するまでの給与量	
		不妊牛に対する粗飼料給与比率(乾物)	25%	給与飼料の乾物中の粗飼料比率	
	自給飼料生産	10a当り年間乾物利用収量	2.07t	2.51t	年間生草収量:9.6t、乾物率は基準が27%・目標は31%、利用率は基準が89%・目標が85%。
		10a当り年間TDN利用収量	1.30t	1.66t	年間生草収量:9.6t、乾物率は基準が27%・目標が31%、利用率は基準が80%・目標が85%、TDN%は基準が63%・目標が66%
		10a当り年間労働時間	27h	23h	基準は個別作業、目標は2戸共同作業
		10a当り年間機械・施設費用	4.0万円	4.0万円	機械は2戸共同所有
		10a当り年間生産費用	9.7万円	9.3万円	労働1時間当り1,150円。資材費は基準・目標とも同じ。
		乾物1kg当り生産費用	47円	37円	サイレージ利用乾物量÷総生産費用、利用率は基準80%・目標が85%
		TDN1kg当り生産費用	75円	56円	ホールクロップサイレージ体系(トウモロコシと大麦の2毛作)。基準指標はコーン:68円、大麦:86円、目標指標はコーン:52円、大麦:62円

(資料出所) 中央畜産会『肉用種肥育経営の経営改善指導指標・把握算式一覧』による作表